

# 輝き

近江草津徳洲会病院広報誌 [かがやき]



2022  
VOL.44

## 近江草津徳洲会病院ロゴデザイン

県の木「もみじ」、郷土の花「しゃくなげ」、県の鳥「かいつぶり」、「地域の人々」、「琵琶湖の水」、そして「徳洲会のロゴ」をあしらい、自然豊かな滋賀県を、木をモチーフにあらわしました。「徳洲会のロゴ」の鳥が一羽その木にとまることで、滋賀県における地域医療の1ピースとして存在したいことを表現しています。



撮影場所：伊吹山 山頂 撮影者：医事課職員

## 新入職医師の紹介 Q&A 1P

- ・コロナ禍での在宅医療の現場から 2P
- ・医師コラム 腎臓内科／前田医師  
繊細な腎臓をまもろう からだと人生を害するタバコはすぐやめて！ 3P - 4P
- ・栄養科の紹介 5P - 6P

無料

ご自由にお持ち  
帰りください



医療法人 徳洲会

近江草津徳洲会病院

## ■新しく入職されました医師のご紹介を致します

- Q1：医療における専門分野  
 Q2：休日の過ごし方 / 趣味は？  
 Q3：どのような医療を心掛けてますか？  
 Q4：どのようなことに挑戦されていますか？  
 Q5：今後の抱負を教えてください。  
 Q6：地域の皆様へメッセージをお願いします。



**A1 乳腺外科** | 部長 <sup>みせ</sup> **三瀬** <sup>けいいち</sup> **圭一**

- A2** もっぱら自宅で、うたた寝をしながら、  
世界平和を考えています。/映画鑑賞、スポーツ観戦
- A3** ライフワークとして「乳癌患者さんのために」を  
心がけています。

- A4** 自分自身が心身ともに健康であること。
- A5** 乳腺疾患ことに乳癌の診断・治療に一層励みます。
- A6** 地域医療連携を図りながら、まずは気軽に乳癌検診を受けて頂けるように努めます。  
宜しく願い致します。

## 乳腺外来のご案内

8月より新たに火曜日・木曜日の診察を開始します。  
 乳房にしこりがある、乳頭から異常分泌があるなど気になる症状がある方は  
 お気軽にご相談ください。

**診察日**：毎週火曜日・木曜日（祝日除く）  
**受付時間** 午前 8：00 ～ 11：30  
**診察時間** 午前 9：00 ～

**担当医師**：三瀬 圭一先生  
 日本外科学会 専門医  
 日本乳癌学会 専門医・指導医  
 日本乳癌学会 評議員



在宅療養支援病院の届け出を令和4年1月に行い、訪問診療の登録者が約130人おられます。院内や地域の医療機関、介護関連施設や事業所、ご家族など多方面から訪問診療の相談や問い合わせをいただくようになりました。最期を自宅で迎えたい方、住み慣れた家で療養したい方、通院が困難などさまざまな理由で訪問診療の依頼があります。



新型コロナウイルスの流行に伴い、長期に家族や外部の人との面会ができないため認知機能の低下や廃用の進行、臨終の場に立ち会うことができなくなりました。面会制限によって、「入院すると次に会うのは亡くなった後になってしまう。それなら家で看たい」「通院したときにコロナに感染するかもしれない、外出するのが不安」と思われる家族からの依頼など入院によって大切な人に会えない辛さや、感染を恐れて在宅療養を選択されるケースが増えました。

訪問診療では、予防や重症化リスク軽減のために、新型コロナワクチン接種に力を入れています。訪問診療を利用しておられる方だけでなく、市から委託を受けた通院困難な方のご自宅や障害者施設へ伺い、打ちたくても打てない状況にある方々にワクチン接種を行っています。

福祉や介護サービスを受けながら生活されている方たちが、コロナ禍でも安心して暮らしていただけるよう今後もこの取り組みを継続したいと考えています。

暮らしがコロナに左右されて、今までの生活様式を変えることを余儀なくされました。これからの日本は、With コロナ時代と超高齢化社会で、在宅医療のニーズが益々高まっています。当院は、2次救急や一般急性期、地域包括ケア病棟、療養病棟、コロナ専用病棟があり、介護センター、訪問看護ステーションが併設され、医療と介護が一貫して行える強みを持っています。在宅医療には当院のようなバックアップ機能があることは、とても心強く安心です。多職種との連携を強め、必要な人に必要な医療を届けられる在宅医療を目指します。

在宅医療部 看護師 塚本 彩





## 繊細な腎臓をまもろう からだと人生を害するタバコはすぐやめて！

世界的に権威ある腎臓病分野の学会誌に、タバコを 1 日 20 本 20 年吸い続けると、末期腎不全（CKD ステージ G5 早ければ 1 年程度で、通常数年以内に透析など腎代替療法が生命維持のために必要となる段階）に至るリスクが 10 倍に、40 年吸い続けると 40 倍にもなると報告されました。桁違いのリスク上昇です。タバコをやめてもそのリスクはあまり下がりません。これはタバコによって腎臓に不可逆的な組織障害が蓄積していくことを示唆しています。



腎臓内科副部長 前田利彦

喫煙により上気道や肺の毛細血管から吸収された数百種類におよぶ有毒物質は血流によって全身の組織や臓器の血管や細胞を傷害していきます。数十種類の発ガン性物質も含まれており、当然の結果として喫煙は生体内のほとんどの悪性腫瘍（口腔、舌、咽喉頭、肺、食道、胃、大腸、腎臓、尿管、膀胱、肝臓、胆嚢、膵臓、子宮、乳腺、骨髄—白血病、脳）が発生するリスクを大幅に、あるいは数倍に引き上げます。

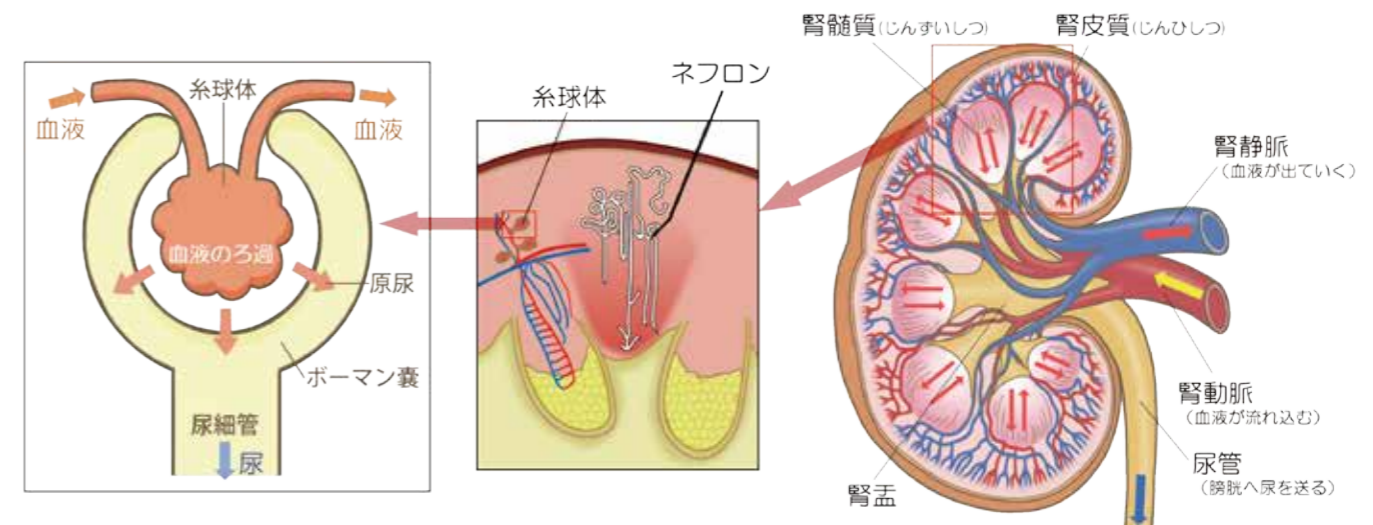
大学病院時代、喫煙者であった咽頭がん手術直後の 70 歳くらいの患者さんが急性腎障害を来たしたため診察に行ったとき、気管切開孔から吸引処置を受けているところでしたが、その苦痛にゆがんだ表情が目に焼き付いています。

喫煙による脳細胞や脳血管の傷害蓄積により人生終盤に脳血管性認知症が進行し、また骨関節傷害が進行して自立した生活が困難になる、あるいは脳梗塞や脳出血のために身体不自由となり人生の大転換を余儀なくされる。喫煙は、繊細なマイクロ構造の集積である自分の身体に不可逆的な傷害を蓄積させて、あらゆる臓器の悪性腫瘍を含めた疾患を形成し、自らの人生後半を苦しいものにする行為なのです。まだの方は今すぐタバコをやめましょう。

私はまだ吸い続けている患者さんに伝えます。喫煙には今受けている治療の意味がなくなるほどの有害性があること、今までの傷害蓄積は変えられないが今やめればさらなる蓄積は止められること、今まで指摘されてなかった患者さんの既往歴と喫煙の関連（骨関節傷害や肝硬変やアレルギーを含めた免疫異常による疾患など）。最後に言います「人生の終盤で、自分で自分のことができる今の良い状態をたもっていたければ、今タバコをやめましょう。今タバコをやめられるかどうかで、あなたの今後の人生が大きく変わります。」

腎臓は身体の出口として、身体の恒常性を保つためのコントロールセンターとしての機能のために非常に複雑なマイクロ構造をもっており、毛細血管がはりめぐらされています。ひとつの腎臓の中に約 100 万個ある糸球体という毛細血管の玉から尿の大元（原尿）が漏出し、ここを起点とする細長い尿細管の折り返し構造（ネフロンという）の中を原尿が流れるうちに、カリウム、ナトリウム、リン酸など電解質の調節、アミノ酸、糖など必要物質の再吸収、尿素や尿酸など老廃物、薬物の不要な代謝物などの排出、などたくさんの物質の出し入れが行われ、何と各物質を尿細管細胞内外を通過させるための何種類もの特有なマイクロ通過孔が用意されているのです。

大学病院時代に経験した 20 歳の若者の症例。蛋白尿 1g / 日程度（正常範囲の数倍だが決して特別に多くはないありふれた程度）、腎生検の組織診断は IgA 腎症という日本の慢性糸球体腎炎のなかで最も患者さんの多いものでした。喫煙もしていない 20 歳の若者の腎臓の組織が、蛋白尿が出続けることでこんなに傷害されてしまうのか！と驚いたことは一生忘れません。私たちは神業のような繊細なマイクロ構造に支えられて生きているのです。老化によって組織の機能は落ちていきますが、正常な部分がかんばって代償します。しかし不可逆的な組織傷害が蓄積していけば、徐々に機能低下と悪循環のサイクルに入っていきます。こんな繊細な身体の仕組みを知れば、一般の方々も高血圧や糖尿病や腎臓病などを症状もないうちに治療を受ける意味が見えてくるはずです。



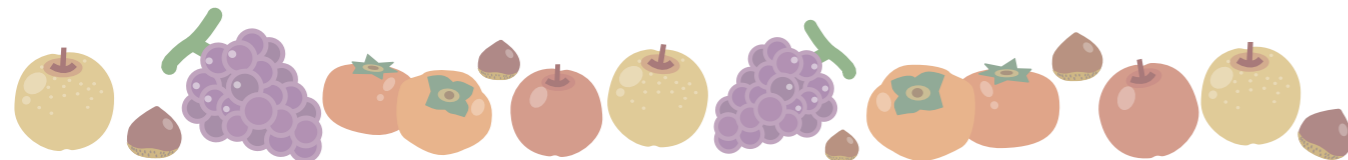
図：腎臓の機能と構造



## 栄養科について紹介させていただきます。



こんにちは、  
栄養科 管理栄養士の木曾田です。  
まずは、栄養科について紹介させていただきます。栄養科事務所、厨房、食堂は5階にあり、とても見晴らしがよい所です（現在は一般の方の食堂利用はできません）。栄養科職員は年齢層が20～70代と幅広く、管理栄養士4名、栄養士1名、調理師7名、調理補助者9名の計21名が働いています。



栄養科の主な仕事は、まず入院中の患者さまに食事を提供することです。赤ちゃんからお年寄りまで年齢層は様々ですが、入院中の食事は医師の治療と同様に、患者さまが早期回復する上でとても重要な位置を占めています。患者さまが満足して食べられて、早期回復に繋がるよう個人の食生活や嗜好などを伺いながら、医師、看護師、栄養士などチーム医療で相談して提供しています。



高齢者社会を迎え、ご高齢の入院患者さまが増加しています。ご高齢の方は高血圧症、糖尿病、高脂血症などといった生活習慣病を持病に持つことが普通です。そういった、入院患者さまには、退院後の食事の参考になればと、栄養バランスのとり方や味付けの工夫などについて指導を行っています。また外来患者さまには、栄養の自己管理を継続してもらえるように、個々に合わせた食事療法の提案を行っています。

さて、今年度から入院患者さまに導入した食事用自助具のお話をさせていただきます。食事用自助具とは、食事の自力摂取が困難な患者さまに対して、その動作を補うための道具の事を言います。自助食器は多くの種類があり対象者も様々ですが、リハビリテーション科に協力してもらい、食事用自助具の導入を行いました。今回導入した食器を使用して患者さまの入院生活をよりよく過ごす助けになればと思っています。



今後も継続して、患者さまの治療に役立てられるよう、医師、看護師、リハビリテーション科とともに、栄養科職員一同で取り組んでいきたいと思っています。



## ■各種交通機関をご利用の場合

- JR東海道本線(琵琶湖線)「南草津」駅 東口より (新快速電車停車)
- ◇徒歩にて約15分
- ◇近江鉄道バス(飛島線・南草津立命線)にて  
「南草津駅前バス停」より乗車、「東矢倉南バス停」で下車 徒歩1分
- ◇帝産バス  
(52系統 草津車庫行・72系統 若草・青山グリーンヒル行 かがやき通り経由)にて  
「南草津駅前バス停」より乗車、「東矢倉南バス停」で下車 徒歩1分
- ◇タクシーにて約5分

## ■お車でお越しの場合

- [栗東方面]京滋バイパス「東矢倉南」交差点右折スグ
- 名神高速道路「草津田上I.C」下車、若草交差点左折、南草津駅方面へ1500m



Oumikusatsu  
Tokushukai Hospital

医療法人 徳洲会

近江草津徳洲会病院

〒525-0054 滋賀県草津市東矢倉 3 丁目 34-52

TEL : 077-567-3610 / FAX : 077-567-3650

<https://www.oumi-kusatsu-hp.jp>



在宅部門

居宅介護支援事業所

TEL : 077-562-5400

通所リハビリテーション

TEL : 077-516-2778

近江草津徳洲会 訪問看護ステーション

TEL : 077-516-2763